

Every extension of knowledge arises from making the conscious the unconscious.

Library News

Our business in this world is not to succeed, but to continue to fail in good spirits.

What is done can be undone.
Library News
Time flies.
Library News
What is done can't be undone.

contents

目次

特集
貴重本紹介

貴重本紹介シリーズ 1

「スペイン人への手紙」と マリー・ローランサン

随想	2
経営学部助教授 萩原 俊彦	
国内外の図書館	3
経済学部教授 伊藤 幸男	
読書ガイド	4
法学部助教授 谷川 毅	
経済学部助教授 伊藤 久司	
大学院会計学研究所客員教授 齋藤 奏	
前短期大学部教授 川勝 泰介	
学生コーナー	6
法学部 野尻有希子	
経済学部 久野 里恵	
経営学部 盛田 崇生	
短期大学部 伊藤 桂子	
図書館からのお知らせ	8



「スペイン人への手紙」《Lettres Espagnoles》は、《Les Hauts - Ponts》(大河小説全4巻)の著者ジャック・ドラクルテル(1888～1985)によって、マリー・ローランサン(1885～1956)の銅版画11点を挿画し、パリで1926年に325部が限定出版されました。

マリー・ローランサンは、ピカソの画室に集まる多くのアーティスト達と親交を深めています。

ジャン・コクトーはマリー・ローランサンを、「野獣と立体派のはさみうち会った可憐な牝鹿」と呼びました。そのことをマリー・ローランサン自身は、「私の学び取った少しばかりのものは、

私が大画家と呼ぶ同時代の人たち—マチス、ドラン、ピカソ、ブラックといった人達から教えられたものです。……私が立体派にならなかったとしても、それはつまり、なろうにもなれなかったからです。」と言っています。

マリー・ローランサンはパリに生まれ、20世紀の二つの世界大戦に翻弄されながらも、ナイーブな感性溢れた油彩画、挿絵本や詩画集、舞台背景や衣裳デザインなど、多彩な表現活動を繰り広げ、生涯愛したパリで没しました。

マリー・ローランサンの銅版画は、ニードル(鋼鉄製の針先を持つ銅版画の描画用具)の細く鋭い針先が銅板の表面に触れる快い感触を確かめ、グラント(銅版画の防蝕剤)をひき搔き、叙情的な作画を楽しんでいます。

マリー・ローランサンの愛好家は日本にも多く、藝科にはその足跡を展示している美術館があります。

(名古屋経済大学短期大学部名誉教授 吉本 隆子)





大局を観る文化



経営学部助教授 萩原 俊彦

NHKの人間講座で将棋の米長邦雄さんが、「大局を観る」というシリーズで米長流の将棋と人生を解説している。このなかに次のような逸話が出てくる。太平洋戦争の敗戦後、日本を実質的に支配していたGHQの重鎮、民生局長のホイットニー准将が、将棋の升田幸三さん呼び出したときの話である。ホイットニー准将は、升田幸三さんに「日本には将棋という野蛮なゲームがある。われわれのチェスと違って、取った駒を兵隊として使うが、これは捕虜の虐待である。日本軍の捕虜虐殺につながる思想ではないのか。」と面と向かって、失礼な質問をした。これに升田幸三がこう応じたという。「取ってきた相手の駒を、例えば飛車を歩として使ったり、角を歩として使うのであれば、それは捕虜虐待とも言えるだろうが、その駒の肩書きどおりに使うのは人間の活用であって虐待とはまったく違う。その人の持つ能力を尊重し活かす、これこそ本物の民主主義だ。」やりこめられたホイットニー准将は、堂々とした升田の態度に感心し、日本の統治について知恵を貸してくれと頼んだというのである。升田はビールをくれたら教えてやろうと言って、「チェスのルールではこの国は治まらない。将棋のルールを活用することを勧める。巢鴨プリズンに捕らえられている政界人や財界人をうまく活用すべきだ。彼らを手駒として活用したらどうか。将棋のルールをもってしか、この国は治められない。」とホイットニー准将に助言したというのである。

アメリカに住んでいるとき、ボランティアで高校の授業を頼まれたことがある。このとき、アメリカの高校というものに初めて実際に入ってみた。そこは、まさにテ

レビの「ビバリーヒルズ青春白書」の世界である。学生は皆、自動車で通学しているし、日本の大学生よりも体の大きい連中がごろごろしていた。日本の文化について話す臨時授業ということで、六クラス連続で一時間ずつ教えなければいけなかった。ネイティブでもないのに、一時間じゅう英語で喋るのは荷が重い。普通日本人は外国でこういう依頼をされた場合、折り紙か習字みたいな実習的なことをするのが良いとされる。柔道や剣道ができれば、なお都合が良い。私も一時間しゃべり続ける自信はなかったので、マグネット式の簡易将棋をいくつか手に入れ、日本の文化の一部としての将棋を説明することにした。ジャパニーズチェスと紹介して、将棋のルールを説明し始めたのであるが、これがなかなか思うに任せない。チェスで「駒を取る」というのは、英語でkillというのである。最初、killしたものがなぜ生き返るのか、将棋の取った駒をまた使うというルールがなかなか理解してもらえなかった。駒を取ることをtakeと言い換えても、なかなか駒が再利用できることが分からないみたいだ。やっとcaptureと言って、理解してもらえた。戦ってやつけた敵がどうしてstill aliveなのか理解できなかつたらしい。敵は殺すものであることが、日本よりも強い文化なのではないかと感じられた。少なくとも捕虜を活用しようとか味方にしようといった考え方は、日本よりも弱いようである。ホイットニー准将と升田幸三の逸話は、この私のアメリカでの高校生への授業風景を思い出させてくれた。彼我の文化の違いというものは、このようなゲームのなかにこそ、明瞭に現れてくるものなのかもしれない。



我が町の図書館 豊田中央図書館

経済学部教授 伊藤 幸男

今年（平成17年）4月、新しい豊田市が誕生する。4町・2村を合併し、面積で名古屋市の約3倍（県下最大）、人口約40万（同2位）となる。今や一兆円企業となった「トヨタ」の「企業城下町」のさらなる発展である。古くは衣の里とも呼ばれ（旧市名・こころも拳母市。昭和34年より豊田市）、養蚕・製糸業の盛んな農村地帯だった。“お蚕さん”こそ姿を消したが、今もお田園風景は色濃く残る。とはいえ、“トヨタ”の発展とともに町は大きく変貌を遂げてきた。名鉄豊田市駅周辺の再開発はその象徴だろう。デパート・ホテルが立ち並び、商店街が装いを新たにす。そして図書館もやってきた。

駅前ロータリーの一角に「豊田参号館」ができたのは平成10年。地下2階、地上13階のこの建物の3～7階に図書館が入った。もとは市中心部からやや北に離れた地区にあり、小さな田舎風の図書館だった。なにかと不便でもあった。

新図書館は大変便利になった。駅から歩いて2分。大変くつろげる空間にもなった。延べ面積、1万2500㎡。閲覧席500席、多数のソファ、談話室、喫煙室、飲食可能な休憩室、個室等、目的と状況に応じていろいろな形で利用できる。児童コーナーには授乳室もある。

和・洋合わせて約76万冊の蔵書の他、新聞・雑誌も充実しているが、CD・カセットテープ・DVDは1万9000点、借りることも出来るが、館内視聴できるAVブースが29室というのも嬉しい。CD-ROM・インターネットの利用も大体申し分なくできる（6階がIT専用）。また、“トヨタ”の図書館だけあって、自動

車資料コーナーが特設されているのは「売り」の一つ。

最近図書館はいろんなサービスを探究しているようだが、その一つにレファレンスサービスがある。学習・調査・研究のために必要な資料・情報を探す時、図書館が手伝ってくれる。一般の市民の方にとっては大変ありがたいサービスだが、プロの研究者にとっても専門外の領域ではこれは結構助かる。豊田市図書館もこの方面には力を入れている。

今年1月下旬、開館から6年2か月で入館者が500万人に達した。市民の人気は上々のようだ。

ちなみに、「参号館」の1・2階は店舗・事務所（金融機関・理美容室など）、8・9階には全国でも珍しい能楽堂があり、10～13階はコンサートホールとなっている。昔、豊田市には芸術の香りが無いなどと陰口をきく向きもあったが、もはや過去のこと。みなさん、一度豊田の町と参号館・図書館を訪ねてみませんか。



■「豊田参号館」（3～7階が図書館）
電話 0565-32-0717
ホームページ <http://www.library.toyota.aichi.jp/>

中村うさぎ・石井政之 共著
『自分の顔が許せない!』
(240頁) (平凡社新書)

法学部助教授 谷川 毅

中村うさぎといえば、ブランド狂いの困ったオネエちゃんというイメージだったのですが、この本を読んで認識を新たにしました。この本は、生まれつき顔に大きなアザがあり、他人の視線にさらされてきた石井政之氏と、やはり他人の視線を意識するあまり美容整形をくり返し受けてきた中村うさぎ氏お二人の対話集です。対話集といっても、お互いに相手を強烈に意識しながらの、壮絶なバトルといってよいかも知れません。

私は昔、なんで二重まぶたじゃないんだらうと悩みました。しかしいつの頃からか、年を取り、たるんで二重になりました。昔、受け口が許せなくて、本気で整形手術を考えました。しかしそっくりな顔をしている弟が普通のアゴをしているのを見て、手術してもせいぜいこんなもんだったかと苦笑いしました。

今の若い人たちの自分自身の外見へのこだわり方は、そんな私の理解の範囲を超えているものがあります。しかしこの本を読んで、そこに徹底的にこだわらざるを得ない彼らの地獄について、ほんの少しわかったような気がしました。またハンデをせおっている人たちに対して、どうしてこんなに無関心でいられるのかという理由についても、なぜそうなのか示唆を受けました。

化粧品も整形もいいですが、自分の素顔を忘れないでください。



玄田有史 著
『仕事のなかの曖昧な不安—揺れる若年の現在』
(251頁) (中央公論新社)

経済学部助教授 伊藤 久司

最近、「ニート」という言葉をよく目にするようになった。「ニート」とは、Not in Employment, Education or Trainingの頭文字を取った造語 (NEET) であり、就職も就学もしていない状態にある若者を表す。この言葉が象徴するように、現在、若者の雇用状況は大変厳しい状態になっている。本書は、このような状況を分析し、原因がよくわからない不安 (著者が言う「曖昧な不安」) を抱えている若者が、その不安と冷静にファイトできる情報を提供することを目的としている。

本書の特徴の一つは、若者弁護の立場に立って書かれていることである。例えば、社会問題となっているニートやフリーターの増加に対して、一般的には、豊かな社会で育った最近の若者は働く意識が弱くなったためだと言われている。しかしながら著者はそうではなく、その原因は景気の悪さと既存の雇用を維持しようとする社会構造により、若者本人が自覚しないまま、劣悪で不安定な就業形態を選択させられているにすぎないということを様々なデータを提示しながら指摘している。単に考えを主張するだけでなく、客観的なデータを用いてその主張を論証しているのも本書の特徴である。

本書は、近い将来、就職というものを考える時期が必ずやってくる皆さんに読んでもらいたい1冊である。特に終章とエピローグには、これから就職を考える若者へのメッセージ (「頑張る」という言葉を使わない、自分で自分のボスになる、信頼できる友達を作るなど) が詰まっているので、是非目を通してもらいたい。



読書ガイド

読書ガイドでご紹介された本は図書館にありますので、ぜひ一読ください。

神山裕右 著
『カタコンベ』
(325 頁) (講談社)

大学院会計学研究科客員教授 齋藤 奏

本学 OB の神山裕右の第 50 回江戸川乱歩賞の受賞作「カタコンベ」を、みんなで読もうではないか。

考えてみると、私も若い頃から「推理小説」を夢中で読んでいたうちに、青年時代と壮年時代が過ぎ去り、いつしか老年時代を迎えてしまった。

しかし、決して後悔はしていない。むしろ楽しいことが多かった。私の人生にとり「推理小説」は、成長の大きな糧となったように思われる。

私の専攻する会計学の一つの領域に「監査論」という分野がある。この「監査論」には「推理小説的思考」が多く求められているように思われてならない。

会社に、不正や違法の事実がないかどうかについて、「監査手続」を選択・適用して隠された事実を解明していくわけである。私はこれを「推理的思考に基づく手法」と勝手によんでいる。

「推理小説」は「表題」が、きわめて大事なようである。これは松本清張氏も力説されていた。彼の小説の表題には、「白い闇」とか「遠い接近」とか、かなり考え抜かれたものが多い。

「カタコンベ」(catácómba)、これもきわめて変わった表題である。なんとなく暗い洞窟のなかに引き込まれそうな表題である。

さて、作品の内容は、エチケットとして紹介することはできない。残念である。



ユージーン・トリビザス文／ヘレン・オクセンバリー 絵
こだまともこ 訳
『3びきのかわいいオオカミ』
(32 頁) (富山房)

前短期大学部教授 川勝 泰介

この絵本は、誰もが知っているあの有名なイギリス昔話「3びきのこぶた」—そう、あのわらの家や木の家、そしてレンガの家を建てるこぶたの話—のパロディーである。



この絵本では、「3びきのこぶた」ならぬ「3びきのオオカミ」が最初に建てるのはレンガの家だ。そして、そこにやって来るのはなんと「わるいわるいおおぶた」なのだ。おおぶたは、オオカミが建てた家をつつけるや、たちまちにして壊してしまう。だが、それにもめげず、オオカミはもっとじょうぶな家づくりに精を出す。でもまたおおぶたがやって来て……。

西洋の昔話ではオオカミは圧倒的に〈悪役〉を演じさせられるのだが、ここではそれをとおおぶたが演じている。この配役とストーリーの展開は、ほんとうにみごととしか言いようがない。

1994 年に日本で翻訳出版されて以来、あちこちの幼稚園や保育所の先生たち、そして学生の前で読みきかせをしてきたが、ぜひみなさんも一度手にして声を出して読んでほしい。

この絵本は新学部開設を前に設置された三号館 1 階の〈絵本ライブラリー〉にある。そして、ついでに、その他多くの絵本にもふれて、絵本の世界をぜひとも堪能していただきたいものだ。

ところで、みなさんは「3びきのこぶた」をほんとうに知っているのだろうか。パロディーを読む前に、今一度「3びきのこぶた」を読んでみてもらいたい。ひょっとして、「こんな話だったのか」と驚く人もいるだろうから。



神山裕右 著『カタコンベ』を読んで

法学部 野尻 有希子

「早く ページをめくりたい！」そう
「早く 思わせるのがこの『カタコン
ベ』だ。

「カタコンベ」とは、イタリア・ローマの
初期キリスト教徒の共同墓地が有名で、古
代の地下墓所である。イタリア全土に存在
するが、中でもローマのものが最も有名で、
迫害を避けてここに集まり祈ったという。

さて、この本の物語の舞台は日本である。
しかし、読み進めるうちに、日本にも多く
の人は知らないカタコンベがあるのではな
いかと連想させられた。

本を開くと、早速、「目に見えない何か」
に、ハラハラ・ドキドキさせられ、まるで
映画を見ている感覚に陥る。「新潟県糸魚川
市」などの具体的な地名が、現実味を出し、
臨場感を引き立たせているのだろう。

そして、知らず知らずのうちに、洞窟の

迷路が頭の中に浮かびあ
がる。迷路は読者の頭の中
でそれぞれ違うかもしれない。その迷路の中を、この
本の登場人物たちが様々なドラマを描きな
がら突き進んでいくのである。人物の心の
動きに注目して読むのもまた面白く、最後
の最後まで目を離すことのできない作品で
ある。

大学の先輩ということもあり手にとった
この本。これまで私は、推理小説は、海外
著者の作品しか読んでことがなかった。し
かし、『カタコンベ』を読み終えたあと、不
思議と「早く次の作品が読みたい！」とい
う気持ちにさせられた。

『カタコンベ』に続く先輩の傑作を心待ち
にしている昨今である。



エリヤフ・ゴールドラット 著 / 三本木 亮 翻訳 『The Goal ザ・ゴール 企業の究極の目的とは何か』を読んで

経営学部 盛田 崇生

去年、経営学

を履修した
時に、萩原
先生に薦められていたのがきっかけで、こ
の本を読みました。率直な感想は、(自分で
考えることはたいせつだ)ということです。

「The Goal ザ・ゴール 企業の究極の目
的とは何か」という本は、あと3か月で閉
鎖されるかもしれない工場を立て直すため、
この工場の所長であるアレックス・ロゴが
奮闘する話です。アレックスは工場の問題
を解決するためにジョナという学生時代の
先生に頼るのですが、その先生は答えを提
示してくれず、ヒントを与え自分で考える
ように促します。悩みながらもアレックス
は自分で、また工場の仲間と問題を解決し
ていきます。

授業で使うテキストなどは解説されなが

ら読んでいても、いまいち
わかりにくいですが、この
本はアレックスがヒントか
らどう答えを探し出すかが
書かれています。実務的な部分が説明されて
いるので、とてもわかりやすいと思いまし
た。特に子供のハイキングの様子を見て、
足の遅い子を工場の効率の悪い部分に結び
つけて説明してある場面などはおもしろく
感じました。

辞書くらいの厚さがあるこの本を初めて見
たときは、読みきれないのでは!?!と
思っていたのですが、読んでみると意外に良いペース
で読むことができました。

「ああ、あの時萩原先生が言っていた本か。」
と思わせられた方は、ぶ厚いオレンジの装
丁の本を探してみても……!



長野まゆみ 著 『耳猫風信社』 を読んで

経済学部 久野 里恵

好きと 言うよりは、嫌いだった雨の日は、少し好きになれた本。

雨の日には、何か不思議なことが起こるかもしれない。

知らない町へ一歩踏み入れる勇氣さえあれば、十字路に気を付けて、日常のちょっとした隙間を探しに行きたくなるのでは？

雨あがりに何を見つける？

きっと、トアンのようにはならなくても、普段なら見落としてしまっているモノ

ノを見つけることができると思える。

これは子供でも、大人でもない“ぼく”の冒険。

猫が人間で、人間が猫。

猫だけど猫じゃない。

行けそうで行けない、となり町。

そんな物語。



鎌形睦美 著 『ふたり～私たちが選んだ道～』 を読んで

短期大学部 伊藤 桂子

「あの事故…」、私はこの始めの文章にくぎ付けになった。本を読むことはあまりない私だったが、最後まで一気に読んでしまった。友達が「この本、すごくいいよ、何か考えさせられる」そう言って貸してくれた本だった。

主人公は著者とその夫。二人は結婚7か月目の新婚だった。ある日二人を悲劇が襲った。急に電話が鳴った。「救急隊ですが、ご主人が交通事故に遭われたので…」、もし自分の家族にこんなことがあったら…そう考えると私の目から自然と涙がこぼれ落ちそうになった。

夫の診断結果は下半身不随。それも一生である。妻の父親は「別れて帰ってこい!!」と言った。しかし、彼女はそうはしなかった。夫を支えたい、夫の力になりたい。そう思ったのである。彼女にとっての幸せとは、たとえ下半身付随でも夫と一緒にいることだったのだ。自分で決め

た道であったが問題は山積で、それを乗り越えていくのはたいへん困難だった。しかし、二人は共に力を合わせてその困難を乗り越えたのである。

私はこの本を読み終えた時、友達の言っていた「何か」がなんとなくわかった気がした。一人の人に自分の人生の全てを捧げるといふこと。それがどれだけたいへんで勇氣と努力がいるものなのか、ということ。それはどうということなのか、ということ。

今の私にそんな心の準備はない。いつか、自分の人生の全てを捧げてもいいと思う出会いを長い人生の中でゆっくり見つけていけばいいと思っている。この本を読むと自分の考えに少なからず変化があると思う。一度ぜひ読んでいただきたい私の中のベストセラーである。



学
生
コ
ー
ナ
ー

お知らせ Information

Books and friends should be... Our business in this world is not to succeed, but to continue to fall in good spirits.
 What is done can't be undone.
 Library News
 Time flies
 Library News
 What is done can't be undone.

■図書館 HP を活用しよう 図書館 HP をもっと活用するために、主な項目を紹介します。研究や学習に役立ててください。

●図書館 2 階—5 階 OPAC トップページメニュー



①②所蔵検索（簡易）（複合）

本学図書館の蔵書を検索できます。探し求めている資料があるか、貸し出し中か、どの場所の書架にあるかがわかります。

③個人情報

『④パスワード変更』した人が利用できます。自分の現在の貸出・予約情報がわかります。

④パスワード変更

図書予約、個人情報(貸出状況)の閲覧は初期パスワードを変更してください。

⑤ベストリーダー

⑥新着図書案内

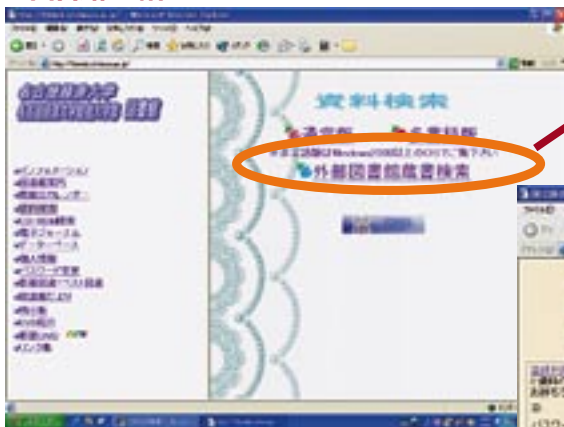
⑦開館日案内

開館時間や休館日の案内です。(館内・学内の掲示板にも掲示してあります。)

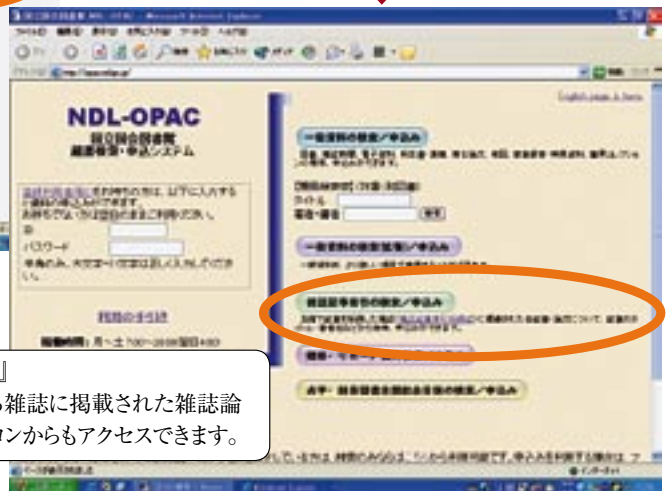
⑧ CD-ROM 検索

法学系 CD-ROM、日本経済新聞全文記事 CD-ROM 等が利用できます。

●図書館 2 階パソコンコーナーのメニュー



外部図書館蔵書検索



『国立国会図書館雑誌記事索引』
 国立国会図書館の所蔵している雑誌に掲載された雑誌論文が検索できます。自宅のパソコンからもアクセスできます。

今回の「図書館だより」は、図書館の蔵書から貴重本の紹介をしました。

図書館だより Vol.49 2005.4

発行所 名古屋経済大学 図書館 〒484-0000 愛知県犬山市樋池 61-22 TEL (0568) 67-3798 (代)
 名古屋経済大学短期大学部 ホームページ http://www.nagoya-ku.ac.jp/lib/index.html
 発行 年 2 回
 印刷所 株式会社 一誠社 TEL (052) 851-1171